

釘と糸で描くアート

ストリングアート



材料

- ・真中釘（丸頭） 1.6×25mm 【桐集成材 450×300×15mm】 …1枚
- ・ソリッドカラー アイスブルー 300×210×15mm …1枚
- ・BRIWAX ジャコビーン
- ・四方錐
- ・金づち
- ・レース糸
- ・サンダー
- ・木工用接着剤



※型紙（イラスト）・ウェットティッシュ・ハサミ・マスキングテープ
・スポンジ・端材（12mm厚のもの）・ウエス

作り方

step

塗装

01

サイズにカットした、桐集成材の角をサンダーで軽く面取りをしたら、ソリッドカラーをウェットティッシュで塗る。ソリッドカラーが乾いたら、BRIWAXをスポンジで木目に擦り込むように塗り、余分なワックスをウエスで拭き取る。



step

下穴をあける

02

桐集成材に型紙をマスキングテープで固定し、イラストの輪郭に沿って四方錐で下穴をあける。穴の間隔は約1cm程度であけていく。



【Point】

輪郭のカーブがきつところや細かいカーブのところは、穴の間隔を狭くするときれいに仕上がる。

ストリングアート

step

釘打ち

03

下穴をあけたら、下穴に沿って真中釘を打つ。この時、端材（12mm厚）を当てながら釘打ちをすると、高さを均一に揃えることができる。釘が曲がらないように気をつけながら打つこと。



【Point】

釘を打つときは、内側から外側の順番で行うと楽に釘打ちができる。

step

型紙を取り除く

04

釘打ちが終わったら型紙を取り除き、1本の釘に糸を結びつける。この時、2回結びつけるとほどけにくくなる。余分な糸はハサミでカットする。



step

糸掛け

05

糸を結び付いたら、イラストの輪郭をなぞるように糸を掛ける。次に内側に糸を掛けていく。この時、糸のかけ方は自由、隙間が無くなるようにかけるときれいに仕上がる。内側の糸をかけ終わったら、もう一度、輪郭をなぞるように糸を掛ける。最後に釘に糸を結んだら、ハサミで余分な糸を切る。同様の手順で他の場所にも糸を掛けたら完成！



【Point】

最後に輪郭をなぞるように糸を掛ける時に、釘の内側と外側の輪郭をなぞるようにすると仕上がりがきれいに見え、立体感が増す。